



# ICTで行政を変える

行政管理局行政情報システム企画課  
(総括業務、業務・システム改革総括担当係長)

**北原 健太郎** KITAHARA Kentaro

- 平成15年 4月 総務省採用  
九州管区行政評価局
- 平成16年 4月 行政評価局評価監視官付
- 平成20年 4月 行政管理局行政情報システム企画課
- 平成22年 4月 行政管理局行政情報システム企画課  
企画調整第二係長
- 平成24年 4月 大臣官房企画課個人番号企画室  
個人番号企画調査第一係長
- 平成25年 5月 大臣官房企画課個人番号企画室  
情報システム調査係長
- 平成28年 4月 大臣官房企画課個人番号企画室  
システム総括係長
- 平成28年 7月 現職

## ■行政へのICTの活用推進

ICTはすでに生活のすみずみまで浸透し、みなさんもスマートフォンなど日常的に何らかのかたちで接していると思います。行政においても、ICTは業務上なくてはならないものとなっており、少子高齢化が進む中で、ICTをどう活用するかが、「すぐ使えて」、「簡単で」、「便利」な行政サービスを実現するために鍵を握ると考えています。

総務省は、政府におけるICT活用の推進と、政府共通ネットワークなど政府横断的に必要なシステムを整備し各府省にサービス提供を行っています。私は、主として政府におけるICT活用の推進のための企画・調整を担当しています。現在は、各府省で戦略的なICT活用を推進するための計画を立てるべく、その内容の検討や調整を行っています。単に政策の企画・立案をするだけでなく、その実現に向け、各府省からの問合せや様々な関係者との打合せなどを通じ、相手の立場も踏まえつつ、粘り強く自分たちの考え方を伝えることを心がけています。

## ■一府省とは違う立場で

一府省という立場に留まらない政府横断的な立場で仕事ができるのは、総務省ならではです。国民生活に直結した特定の行政分野を担っていないものの、ICT活用という観点から、しがらみなく各府省と行政課題の解決に向けた議論を行い、よりよい国民生活の実現に取り組むことができます。また、以前担当したマイナンバーのシステム構築は、国民への影響も大きく、関係者も多岐にわたる短期間の難しいプロジェクトでした。そのような国民生活や行政運営の基盤となるビッグプロジェクトに関わるチャンスもあります。職場は、オフィス改革の一環で座席を固定しないフリーアドレスとなっていることもあり、風通しが良く、若手・管理職関係なくフラットに議論しながら業務に取り組んでいます。求められるのは、枠にとらわれない柔軟な発想と、何かをやりたい・実現したいという熱意です。ぜひ、一度興味を持って総務省をのぞいてみてください。

## Question & Answer

### Q. あなたが実践する働き方改革とは？

A. 週一回は、テレワークで在宅勤務を行うようにしています。職場での勤務は、電話対応やミーティングでまとまった時間が取りづらく、集中して何かを考えたり、資料を作成したりすることが難しいのが実情です。在宅勤務の日に、集中して検討したい仕事に取り組むよう、スケジュールリングしています。

### Q. 一緒に働くならどんな部下？

A. 明るく、何にでも前向きに取り組んでくれる人がよいと思います。また、学習意欲を持って新しい知識を身につけるべく、自己研鑽に取り組む人がいいですね。



## Private Life

週末は、平日あまり一緒に過ごせない子どもたちと過ごしています。ごはんを食べさせたり、公園に遊びに連れて行ったり、絵本を読み聞かせたり、お風呂に入れたり。一日中子どもとべったりです。夏場は、水遊びができる公園を制覇しました。たまに、自分の時間として趣味の山登りやボルダリングで心と体をリフレッシュしています。

